

新国立競技場に関する記事を読んで

富山高枝 一年

田縄 陸斗

今、2020年の東京オリンピック・パラリンピックについて、たくさんの問題点が挙げられている。その中で最も注目されているのが、この新国立競技場に関する問題だ。新聞だけでなく、テレビやネットなどでも多くの人が意見を述べているが、この記事では、神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会による総工費の上限を1千億円とするよう求める提言が紹介されている。

この提言の中で賛成したいと思うのは、固定座席を5万席程度とし、残りは仮設にするという項目だ。調べたところによると、予定では8万人の予定らしく、自分は多くの人が応援に駆けつけ、盛り上がることで済むよう収容人数は大きい方がよいと思うが、アリの分の最多入場者数が6万2632人ということを考えて、8万人は多すぎると思う。

だから、5万人まで少なくしなくても、6万  
5千人程度とし、残りはオリンピック杯  
の時だけの仮説とすること、予算削減にも  
つながり、普段の使用時も無駄なく使用する  
ことができると思う。また、外観については  
屋根を可動式にしないという意見が挙げられ  
る。いるが、自分はこの意見に反対だ。初めて  
新国立競技の完成予想図を見た時、こんなに  
も革新的で美しく、日本の新時代を感じさせ  
てくれるものができると、期待の気持ちで

一杯になった。この気持ちを世界中の人に味  
わけてもらいたいので、完成させるべきだ。  
そうすること、このスタジアムを見るため  
にという理由で、日本にやってくる人も増え  
るだろう。しかし、これを作るとすると予算  
の問題もあるが、だからといって予算を減ら  
し小さくするのはなく、このデザインの手  
ま予算を減らすために、例えばコンクリート  
よりも安くて、環境にも優しいジオポリマー  
を使うのが良いと思う。

二年前に、東京オリンピック開催が決ま、  
た時から、日本国民全員の関心が高ま、てい  
る。その証拠に滝川クリステルさんのつおも  
てなしは流行語大賞にも選ばれた。そもそ  
もこの新国立競技場の問題や、エンブレムの  
ことが話題とな、ているのは、その分国民も  
オリンピックに期待しているというこで、  
東京オリンピックの経済効果で、日本の経済  
も良い方向に進んでいき、東日本大震災の復  
興につながるとなると、これ以上良いことは

ない。この記事で吉田忠智党首もオリンピック  
を「国民の夢」と言っているが、その通り  
である。だから、大切なのは予算の話ではな  
く、東京オリンピックの成功である。日本国  
民全員で「国民の夢」を叶えるべく、協力し  
合、ていくべきではないのかと思う。